

視聴覚教育

NO. 398

発行日

25. 12. 20

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部研修部会

学習情報部研修部会では、平成二十五年七月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」の三項目である。

詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育（第四十五号）』に掲載されるので、ここではその概要について述べる。

主なデジタル機器の一枚あたりの平均保有数は、表1の通りである。中でも注目すべきは、HDDデジタルビデオカメラの保有数である。小中全体の平均保有数が一校あたり二台を割っており、世間で普及している割には、学校での保有数は多くないことが明らかになった。

この機器は、内臓HDDに長時間の録画が可能である一方、録画データの後処理に手間が掛かる面もある。また、最近ではデジタルスチルカメラでも高画質な動画が録画できることも関係しているかもしれない。

主なデジタル機器の平均保有数【表1】 (単位：台)

機器名	小学校	中学校	小中全体
DVDプレーヤー※1	20.9	21.8	21.2
HDDデジタルビデオカメラ	1.6	2.1	1.8
ビデオプロジェクター	3.6	3.4	3.5
教材提示装置(書画カメラ)	14.9	10.3	13.5

※1 ポータブルタイプ、VHSとのダブルデッキも含む

視聴覚用語

『ソーシャルゲーム』

SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)上で提供されるゲームのこと。基本のプレイは無料だが、アイテムの購入に課金が伴う場合が多い。SNSを通じたコミュニケーションが可能なることから、出会い系サイトのように利用される懸念が指摘されている。

【主な購入希望機器【表2】

機器名	希望校数
教材提示装置(書画カメラ)	13校
HDDデジタルビデオカメラ	12校
CDラジカセ	9校
タブレットPC	8校
プロジェクター	7校

主な購入希望機器では、タブレットPCが上位に登場するようになった。タブレットPCは、現在中学校での導入が始められている。

今後、様々な教材や授業形態において利用されていく中で、効果的な利用方法が研究されていくであろう。教材提示装置は、大型ディスプレイ導入時に、二学級に一台の割合で設置された。授業での利用頻度が高いことから、全学級に配置するために購入を希望している学校が多いと考えられる。

購入して、便利だと感じる機器では、デュプリケーターが多く挙げられた。DVDなどを一度に多数複製できるデュプリケーターは、現状では拠点となる学校に導入され、周辺の学校で共用されている。しかしその利便さから、独自に購入を検討している学校が多いと考えられる。

これらの調査結果を参考に、教育の情報化に向け、各学校で機器整備を進めていただきたい。

II 視聴覚教育あれこれII

● ITインストラクターの活用を!

ITインストラクター訪問事業では、ICT機器の設定やメンテナンス、ホームページ制作などの作業を依頼できます。また、校内の掲示物や教材作り、パソコン室での授業支援などの依頼も可能です。積極的に活用し、教育の情報化を推進しましょう。詳しくは、各校の学習情報主任にお尋ねください。

● 自作視聴覚教材の活用を!

自主サークル「おかざき映像教材研究会」が制作中の視聴覚教材が、最後の仕上げの段階に入っています。どの作品も子供の学びを深めるのに役立つ教材です。第三回学習情報主任会で、左の六作品全てを収録したDVDを各小中学校に配付する予定です。今まで制作された作品と合わせ、授業での積極的な活用をお願いします。



A班 『三河木綿』

『伝統を紡ぐ人々』
(ビデオ教材) 対象 社会教育)

B班 『地域に根ざすコミュニティFM』

『FMおかざきのはたらき』
(ビデオ教材) 対象 小学五年 社会)

C班 『燭光(しよっこう)をつなぐ』

『岡崎の匠 磯部ろうそく店の伝統』
(ビデオ教材) 対象 小学五年 社会)

D班 『岡崎の偉人たち2』

(マルチ教材) 対象 小・中学校 社会)

E班 『空を探る』

『空気自動車から』
(ビデオ教材) 対象 中学一年 理科)

F班 『エンサイクロペディア「おかざき」』

(マルチ教材) 対象 小・中学校 理科・総合)

※各班の教材のタイトルは仮題です。

実践報告II ●環境問題を自分事に

矢作西小学校 山本 浩司

四年前に全教室にノートパソコン、大型ディスプレイが配備されたことで、パソコンを使った授業への敷居が低くなった。私自身、パワーポイントを使ったスライド、OKリンク上にある動画、バーチャル地球儀ソフトなどを教材として日常的に使うようになった。今年度も授業内容に合わせ、パワーポイントのスライドを作成して利用した。

九月には、総合的な学習の時間で「砂漠化問題」をテーマとした研究授業を行った。外国で起こっている問題を、自分の生活と結びつけて考えられるようにすることを目標とした。

本時では、砂漠化のイメージをつかませたり、砂漠化に関わるデータを視覚的にとらえさせたりすることができるよう、パワーポイントを利用して、次のように授業を展開した。

①砂漠化のイメージを確認するために、砂漠の写真を提示する。②アメリカの大規模農業によって、砂漠化が広がっている現状を知らせるために、写真とグラフを提示する。③アメリカの農作物に頼っている日本の現状を知らせるために、食料自給率等のグラフを提示する。④アメリカ産の大豆や米を原料とする食料品の実物を提示する。



砂漠化と日本の関わりについて、子供に聞くと、「私たちが食べるために砂漠化が進んじやう」「自分たちの生活が砂漠化につながっている」と述べ、砂漠化問題を自分の生活と結びつけてとらえ始めた。写真や各種データを、パワーポイントを利用してテンポよく提示することで、子供に問題意識を明確にもたせることができたと考えた。

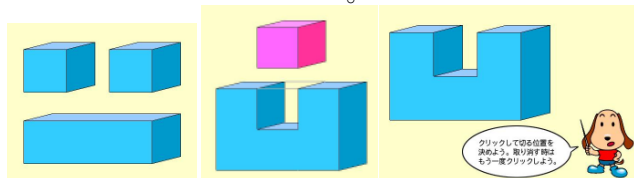
II レッツ・トライII ●「チャレンジ計プリッ」

算数の図形領域の学習では、子供の理解を確かなものにするため、市販または手作りの教具を使う場合が多いのではないだろうか。そんな時に利用すると便利なのが、「チャレンジ計プリッ」のシミュレーションである。シミュレーションは、学年選択ボタンの下にあるアイコンをクリックすると、「計算の広場」としてフラッシュ計算と一緒に表示される。

例えば、五年生の立方体・直方体以外の体積の求め方を考える学習は、空間認識が不得意な子供にとって、理解が困難な分野である。そのような時、黒板やプリントなどに見取図を書いてイメージさせる支援が多いだろうが、今回はシミュレーションの中の「凹型の求め方のくふう」を利用してみた。

これは、複雑な図形が立方体や直方体に分けられることを動画で示してくれるので（図参照）、頭の中で立体的な図形を描けない子供でも、視覚的に図形をとらえることができるようになり、理解を深めることができた。その後、図形の切り方を学習者が自分で決められる機能を活用し、他の図形でも体積を求める練習を重ねていくことができた。

本ソフトウェアには、他にも図形の描き方などを動画で示す教材なども収録されているので、各校で活用されることをお勧めする。



（夏山小学校 学習情報主任 井上清美）

ライブライブラリーだより

●教育行事の編集と配信について

視聴覚ライブラリーでは、岡崎市内で開催された各種教育行事の撮影を行っています。撮影した映像は、編集した上で、CATVミクス121chの「チャンネルおかざき」に番組として配信しています。放送時間は、毎日午前10時から正午までの二時間です。放送内容は、ミクスが発行しているケールブルガイド、または視聴覚ライブラリーのHPから調べることができます。

平成25年度は、総合体育大会や主張コンクール、スピーチコンテストの様子が放映されています。また、市内小中学校の研究発表会（常磐南小、六ツ美中部小）や、おかざきっ子展などの映像も配信していきます。ケールブルテレビへの配信の他に、DVDへのダビングサービスも行っていますのでぜひ御利用ください。

●情報モラル出前講座のご案内

情報モラル教育の重要性が増しています。各学校で児童・生徒に向けた情報モラル教育が進められています。保護者にも意識を高めていただくよう働きかけていくことが大切です。

そこで、視聴覚ライブラリーでは、情報モラルについての出前講座を実施しています。保護者や地域の方々を対象に、ネット社会の危険な現状や、子供をインターネットの闇から守るための具体的な手だて、メディアと健康などについて、学校の要望に合わせ講師を派遣しています。ぜひ御活用ください。

問い合わせ先 視聴覚ライブラリー

